



まんまるはーと 月形町

月形町 道の駅整備 検討資料

令和3年8月
月形町 まちづくり推進室

1. 空知管内の観光状況

- 美しい田園風景やどこまでも続く平坦なコース等を求め、多くのサイクリストが訪れているほか、札幌圏と旭川圏の間に位置することから、気軽に訪れることのできる観光圏となっている。
- 令和元年度の空知管内における観光入込客数は約1,230万人。構成比でみると、道外客8.2%、道内客数91.8%と、道内客が主体となっている。
- また、96.3%が日帰り客、宿泊客が3.7%となっており、日帰り客が主体となっている。



ひまわりの里



雨竜沼湿原



宮島沼



長沼温泉



図-1 空知管内の主な観光地

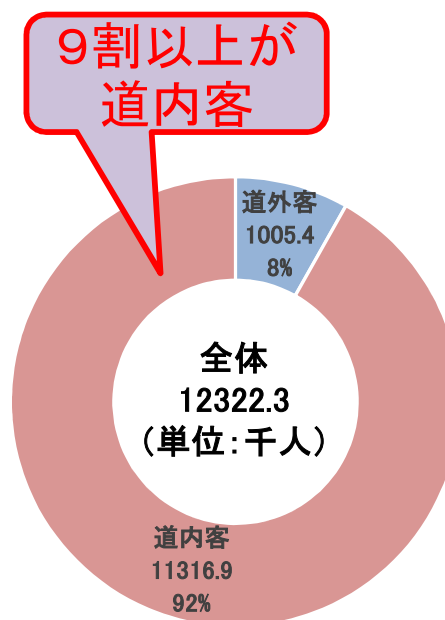


図-2 空知管内の道内・道外観光客
出典:北海道観光入込客数調査報告書

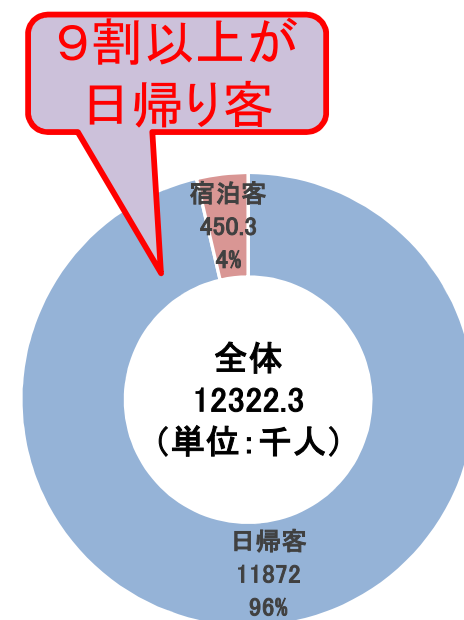


図-3 空知管内の日帰り・宿泊観光客
出典:北海道観光入込客数調査報告書

2. 空知管内における道の駅設置状況

- 管内には24時間利用できる休憩施設として、道の駅が12箇所設置されている。
- 旭川圏側に道の駅が集中しており、札幌圏側の道の駅は少ない。

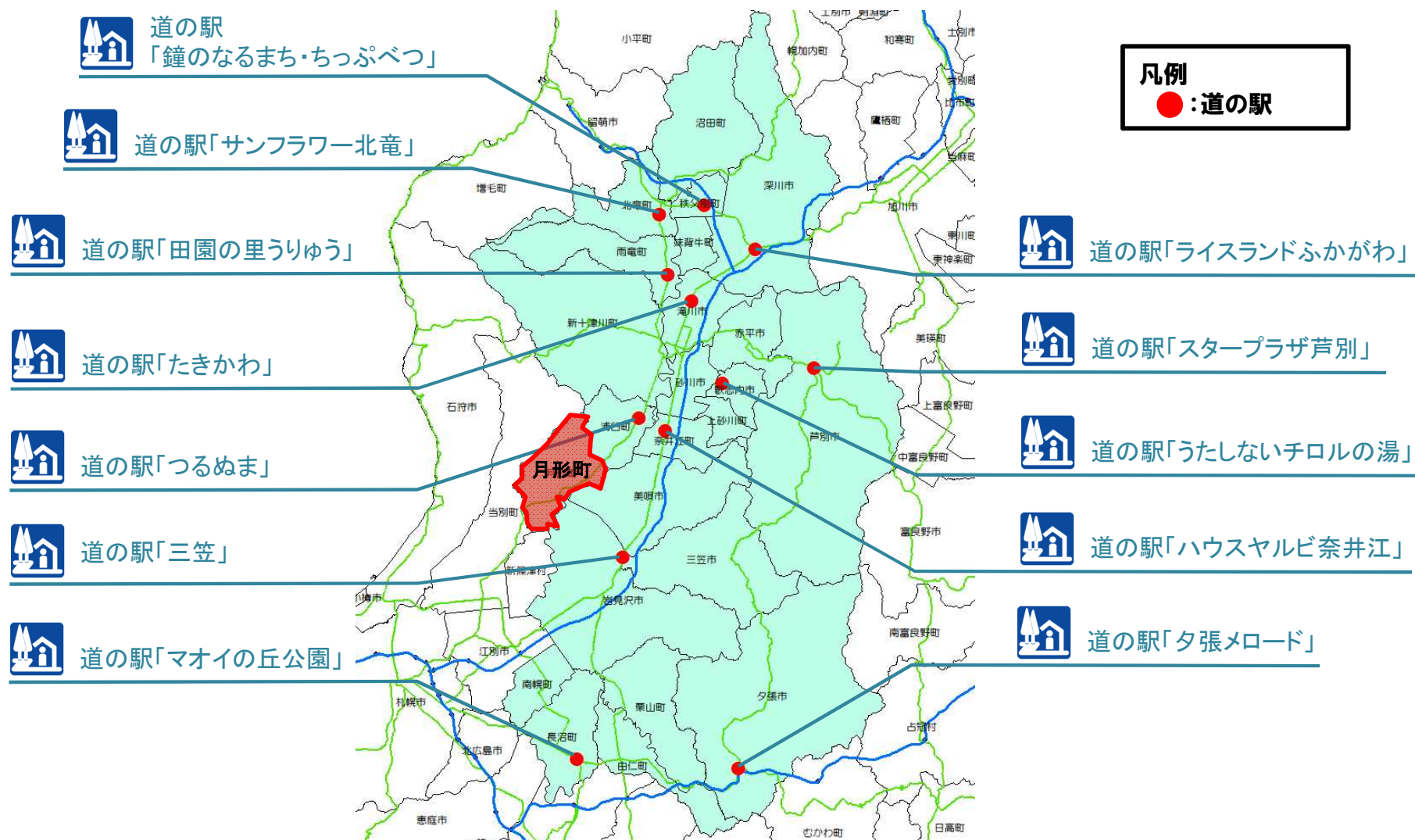


図-4 空知管内の道の駅設置状況

3. 月形町周辺における道の駅整備状況

- 月形町周辺の道の駅の整備状況は「とうべつ」、「あいろーど厚田」、「しんしのつ」、「三笠」、「ハウスヤルビ奈井江」、「つるぬま」が整備されている状況
- 国道275号線沿線の「とうべつ」「つるぬま」間の間隔は49kmあり、道の駅の設置要領(案)を踏まえると月形町で駐車場、トイレ等の休憩施設の整備が必要

○「道の駅」配置計画実施要領(案)(平成8年11月 建設省道路局国道課)

「道の駅」の配置は、設定した整備計画対象路線に対し、民間等の休憩施設を持つ施設も活用しつつ、設置間隔が10km～20kmを目安とし、最大でも25km程度となるように行う。

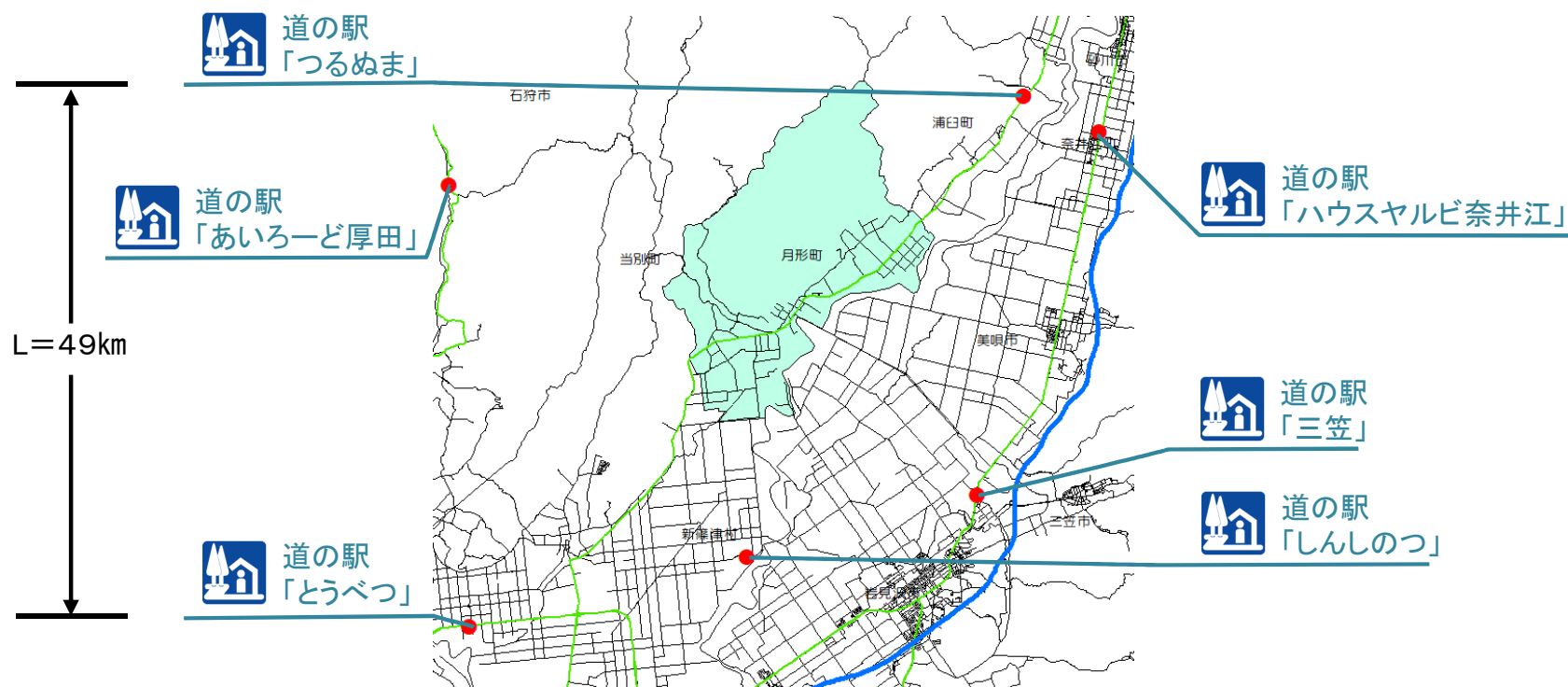


図-5 月形町周辺の道の駅整備状況

4. 月形町内における現状と課題(休憩施設の視点)

- 町内には、休憩施設が点在しており、十分な駐車スペースが確保されているが、アウトドア目的の施設が多く、通年で利用できる場所は少ない。
- なお、コンビニは3軒あり、すべて24時間営業である。

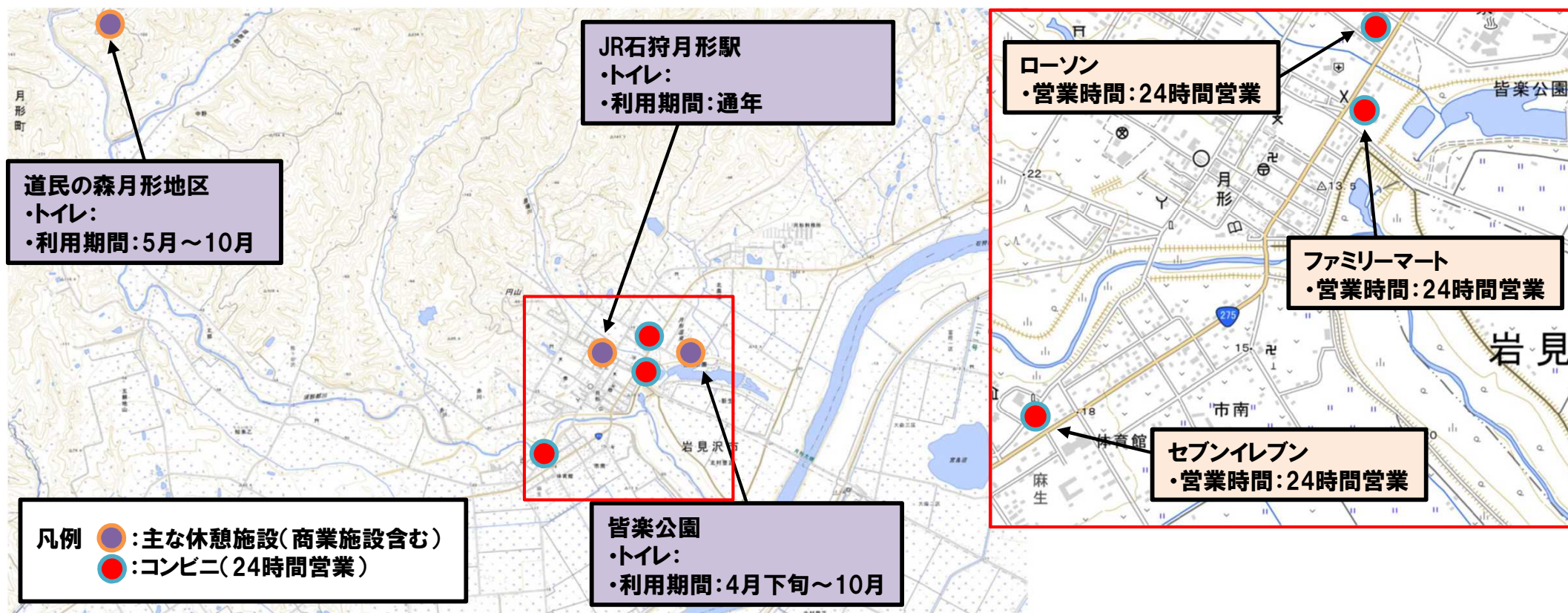


図-6 月形町内の休憩施設の状況

【地域に求められる機能等】

- 広域に周遊する道路利用者の安全性、快適性の向上に資する24時間利用可能な休憩施設
- 道路利用者の滞在時間の増加と地域の活性化(地域の魅力PR機会の向上等)

5. 月形町内における現状と課題(観光の視点)

- 樺戸集治監の設置とともに誕生した、独特の歴史を持つ歴史ロマンのまち
- 月形町の観光入込客数は、平成30年度、令和元年度ともに空知管内の24市町村中23位



図-7 月形町の主な観光地

観光入込客数(単位:千人)

市町村名	令和元年度	順位	平成30年度	順位
砂川市	1625.2	1	1622.7	1
三笠市	1377.2	2	1366.1	2
岩見沢市	1112.8	3	1084.0	3
長沼町	1011.2	4	709.8	6
深川市	931.3	5	907.3	5
芦別市	863.8	6	919.1	4
滝川市	704.7	7	655.6	7
秩父別町	623.5	8	632.6	8
北竜町	517.0	9	511.0	10
夕張市	403.4	10	513.0	9
美唄市	396.6	11	311.0	14
栗山町	365.7	12	407.2	11
由仁町	320.5	13	329.3	13
南幌町	277.6	14	271.8	15
雨竜町	246.5	15	241.0	17
赤平市	232.8	16	223.6	19
奈井江町	225.6	17	257.8	16
妹背牛町	209.9	18	228.4	18
浦臼町	190.2	19	169.6	20
歌志内市	174.8	20	333.2	12
新十津川町	157.3	21	150.7	21
沼田町	135.5	22	128.7	22
月形町	122.7	23	114.9	23
上砂川町	96.5	24	89.9	24

表-1 空知管内の市町村別観光入込客数

出典: 北海道観光入込客数調査報告書

【課題解消により期待される効果】

- 観光スポットを整備、新設することによる観光客の増加
- 観光客の増加による地域の活性化(地域の魅力PR機会の向上等)
- 観光・交流から定住・移住への展開

6. 月形町における現状と課題(道路・公共交通の視点)

- JR札沼線(学園都市線)北海道医療大学～新十津川間の廃止による、町民の通勤・通学や観光振興等の新たな移動手段の確保・維持
- バスターミナル機能をもつ地域拠点施設の設置を検討

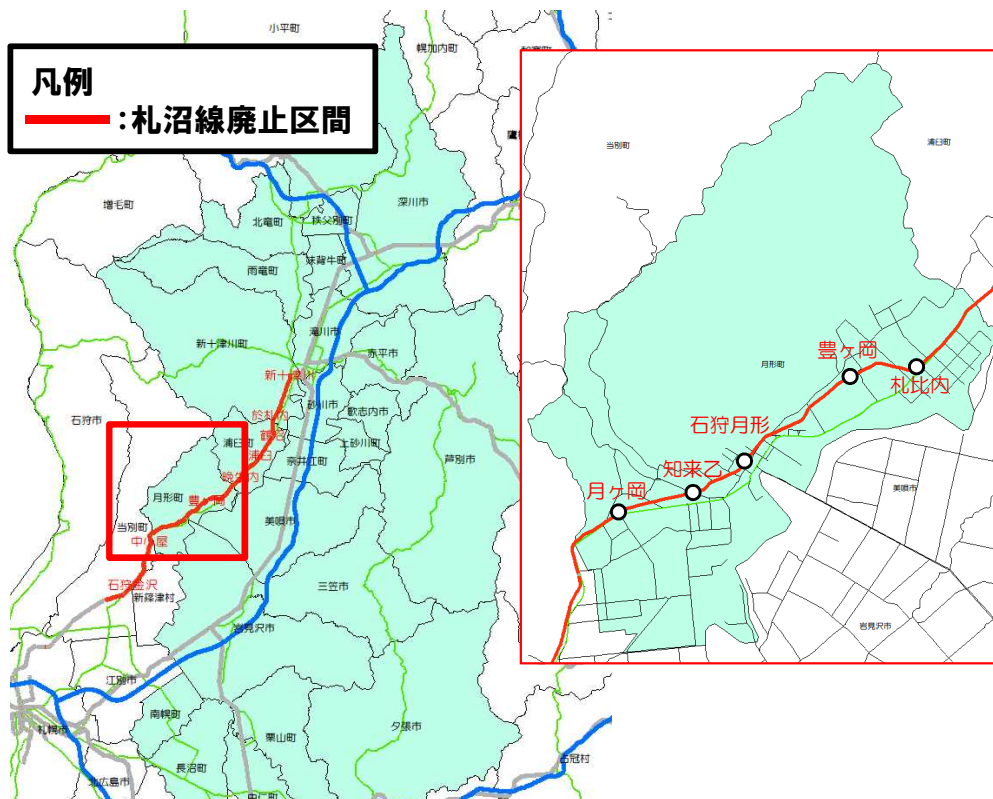


図-8 札沼線廃止区間図



図-9 バスターミナル候補地

【地域拠点施設に求められる機能等】

- 地域公共交通の結節点として、住民生活の利便性の向上
- 災害時に対応し、安心・安全に利用でき、多世代の町民が気軽に『集い・憩い・交流』が生まれる場所
- 町の「顔」として、月形町の PR や地域情報の発信力を高める

7. 月形町における現状と課題(地域連携の視点)

- 各地区で、地産地消を促進するイベントを開催しているが、単独での取り組みには限界があり、各地区の産物を一同に集め、通年でPRできる「場」が求められる
- 周辺地域を含めた「地域の活性化」等を図るうえで「連携機能の強化」が緊要



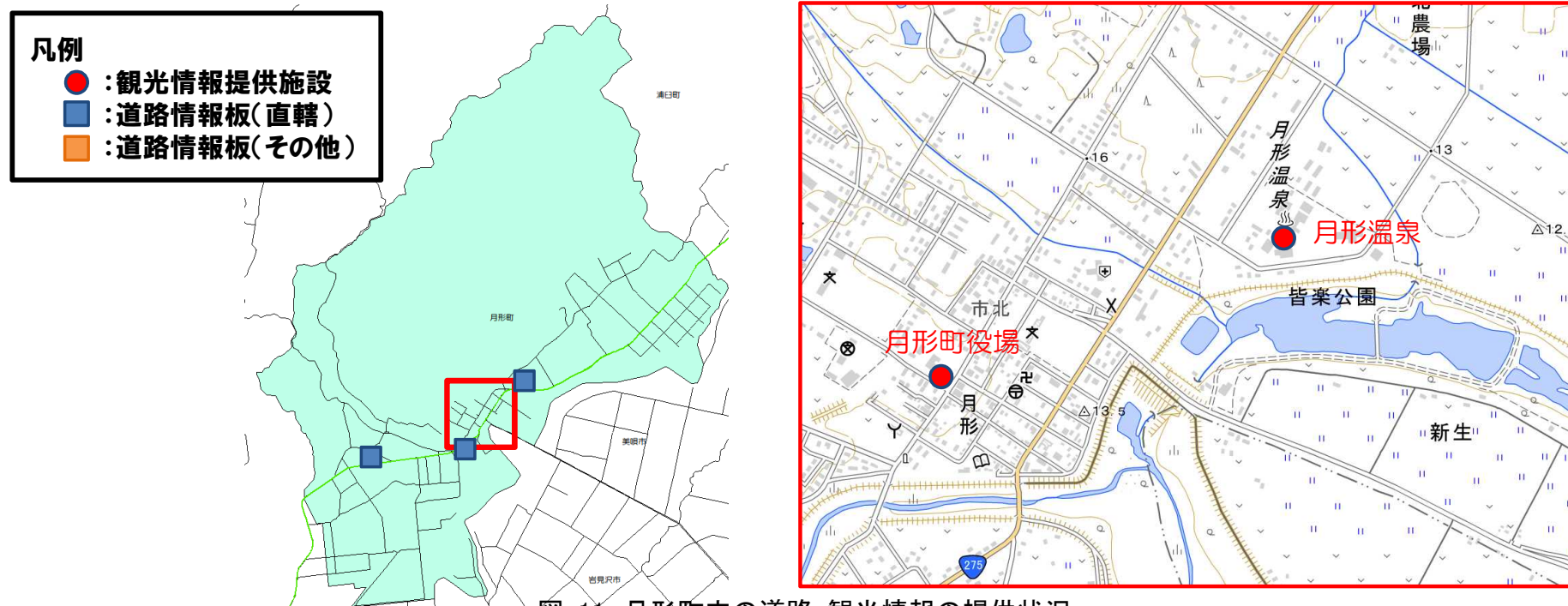
図-10 他地域との連携施設状況

【期待される効果】

- 地域資源の国内外への広い発信と観光客や移住者の増加による新しいひとの流れの創出
- 住環境の改善による移住・定住の促進

8. 月形町における現状と課題(情報発信の視点)

- 軌道拠点のない当該地域では、観光情報は、主に「月形温泉」内、また、道路情報については、各道路管理者が道路情報板・HP・ラジオ放送等により提供
- 情報提供(又は入手)箇所が少ない。土地勘のない観光客等にとって広域的な道路・地域情報を容易に入手できる「情報発信機能の強化」が緊要



【課題解消により期待される効果】

- 地域情報のほか、「視覚的」かつ「リアルタイム」な道路情報等の提供が可能となり、利用者の利便性が向上
- 対外的に魅力を伝える機能が充実することで、我がまちへの「自信」と「誇り」が育まれ、町民の一体感の醸成

9. 上位計画

○ 月形町第4次総合振興計画 平成27年4月

将来像の実現に向けた計画の体系

1. みんなにやさしく健やかなつきがた(保健・医療・福祉分野)
2. 豊でにぎわいのあるつきがた(産業分野)
3. 快適で安全・安心なつきがた(生活環境分野)
4. 人が輝き文化が薫るつきがた(教育・文化分野)
5. 発展の基盤が備わったつきがた(生活基盤分野)

■道路・公共交通

交通立地条件の向上と利便性・安全性の強化、交流人口の増加に向け、国道の維持管理や道道の整備、**道の駅の整備**を関係機関に働きかけていくとともに、町道の整備及び維持管理、橋梁の条寿命化を計画的・効率的に推進します。

■観光・交流

観光客の増加による地域活性化はもとより、観光・交流から定住・移住への展開も見据えながら、独特の歴史をはじめ、**月形茨戸博物館や皆楽公園をはじめとする観光・交流資源の整備充実**、有効活用に努めるほか、特色ある農業のまちとしての特性を生かしたグリーン・ツーリズムの展開を図り、**着地型の観光・交流機能の強化**を進めます。

6. とともに生き、ともにつくるつきがた(協働・行財政分野)

○ 第2期月形町創生総合戦略 令和2年3月

基本目標

1. 産業を元気にして雇用を育むことにより、月形町に「にぎわい」を創る
2. 移住定住と交流により新たな人の流れを生み、月形町を「えがお」にする

■施策 観光交流の推進

- ・地域資源の活用や観光推進体制を充実させ、観光入込数の増加を図ります。さらに関係機関との連携のもと**観光拠点となる皆楽公園エリアの再整備**を進めます。

KPI 観光入込客数 13万人

- ・観光推進に当たっては、「樺戸集治監によって拓かれた町」を随所で活用し、**まちのPRを強化**します。
- ・町の優れた自然や農村の魅力を生かした**グリーンツーリズムを推進**するとともに、新たなイベントの誘致や創出を行います。
- ・**南空知ふるさと市町村圏組合との連携**により、圏域外者バスツアー、首都圏プロモーション、南空知ふるさと物産店事業等を行います。

3. 安心できる子育て環境をつくることにより、若い世代の「きぼう」をかなえる
4. 快適で安心な暮らしを確保することにより、月形町で「ゆとり」を実感する

■施策 地域公共交通の充実

- ・公共交通のあり方や、**バスターミナル機能をもつ地域拠点施設の検討**を進めます。
- ・町民の日常生活に不可欠で身近な交通手段である路線バス事業者及びハイヤー事業者に対して補助を継続し、地域公共交通の維持・確保を図ります。
- ・予約運行型乗合交通の整備及びICTの活用による利便性向上に向けた検討を進めます。

10. 道の駅が担う地域拠点施設機能

- 道路利用者の休憩施設としての役割を担うことを基本に、地域コミュニティの活性化や観光振興の拠点、新たな公共交通ネットワークの構築に伴う地域公共交通の結節点として機能

(対象イメージ)



図-12 新たな公共交通ネットワークの構築に伴う接続拠点としての道の駅
出典:国土交通省道路局HP

11. 道の駅が担う情報発信機能

- これまで各地域や観光施設等でそれぞれ提供していた情報を、「道の駅」を地域の玄関口等として、一元的に「広域的な道路・地域情報」を提供
- 情報提供手法の特徴を活かし、「道路利用者の利便性向上」に資する情報はもとより、各地域や観光施設PR等の「地域間連携の場」として活用し、「地域全体の活性化」に繋がる情報を発信

動的情報

【道路情報提供端末】



図-13 道の駅SPOT

- ・ 刻々と変化する道路・気象等、**リアルタイムな情報**を提供
- ・ 地域の道案内に役立つ情報を提供

中位的情報

【案内人】

- ・ 「道の駅」利用者への対応
- ・ 周辺地域を含めた観光案内
- ・ パンフレット等に記載されていない「穴場」の紹介
- ・ 観光ボランティア等の受付

相互連携

【周辺観光案内所等】

静的情報

【ポスター、チラシ、掲示板】



図-14 空知観光ポスター、パンフレット

観光やドライブの際に**情報を持ち運び可能**な「地域特有の道路情報」や周辺地域を含めた「観光案内」パンフレット等を配布

12. 道の駅が担う地域連携機能(広域的な連携)

- 地域間連携をする場がなく、観光客等に対して十分に「地域全体の魅力」をPRできていなかったことから、「道の駅」を地域連携の拠点とし、「地域の観光特性」や「地域の個性」を踏まえたイベント等を開催
- 地域の特性や設置の目的、コンセプトを明確にした上で、住民サービスや地域の交流を重視した施設整備と町外からの観光誘客や観光消費の拡大を目的とした施設整備の両方について検討

【そらち「道の駅」スタンプラリー】



図-15 そらち「道の駅」スタンプラリーチラシ

空知管内の「道の駅」12駅が連携し、札幌から日帰り可能な空知管内の周遊を目的に、地域限定の「そらち『道の駅』スタンプラリー」を開催。スタンプラリー帳に地域のイベント情報を掲載、QRコードで地域の観光情報入手することができ、スタンプラリーを楽しみながら、空知の観光周遊出来る。

【そらち温泉キャンペーン】

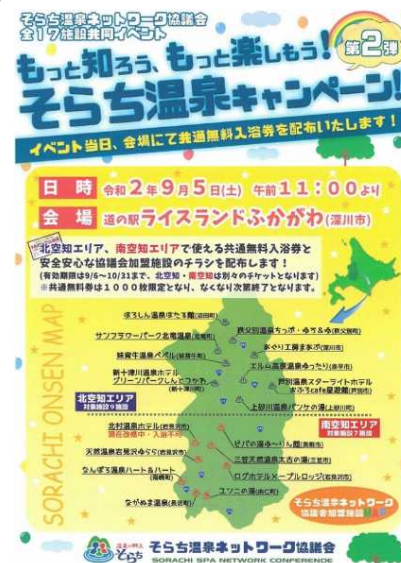


図-16 そらち温泉キャンペーンチラシ

北空知エリア、南空知エリアの17施設で使える共通無料入浴券と安心安全な協議会加盟施設のチラシを道の駅「ライスランドふかがわ」で配布。空知エリアの温泉をもっと知ってもらうイベント。

13. 道の駅の必要な要素(条件)

「道の駅」の目的

- 道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供
- 地域の振興に寄与

「道の駅」の基本コンセプト

地域とともに作る
個性豊かなにぎわいの場

※災害時は、防災機能を発現

道路情報、地域の観光情報、
緊急医療情報などを提供

休憩機能

24時間、無料で利用できる
駐車場・トイレ

情報発信
機能

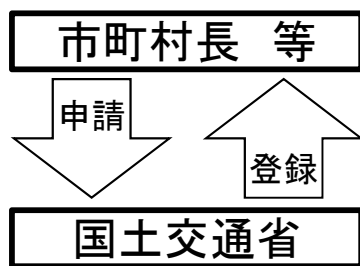
地域連携
機能

文化教養施設、観光
レクリエーション施設
などの地域振興施設

「道の駅」の設置者、登録方法

- 「道の駅」は、市町村又はそれに代わり得る公的な団体が設置
- 登録は、市町村長からの登録申請により、国土交通省で登録
- 整備の方法は、道路管理者と市町村長等で整備する「一体型」と市町村で全て整備を行う「単独型」の2種類

「道の駅」登録手続き



「道の駅」の登録数

「道の駅」総数 1,180駅
うち一体型: 646駅 (55%)
うち単独型: 534駅 (45%)

令和2年7月1日時点

整備主体と整備内容



資料は国土交通省HPより作成

14. 月形町道の駅構想(案)エリア図

「道の駅」整備により産業、観光、地域活動を活性化し町を元気にする観光拠点の実現



- ・ 周辺地域（他市町村）との連携強化を図り、各地区の特産品のPRによる産業活性化
- ・ 皆楽公園エリア及び樺戸博物館との連携を図り、観光客の増加による観光活性化
- ・ 周遊する道路利用者の安全で快適な休憩施設と町の魅力PRによる地域活性化

◆道の駅(皆楽公園)全体図



◆道の駅HUB施設イメージ図

